

域内自給率の検討結果

域内自給率の指標の定義

域内自給率(前回のおさらいと算出方法の変更)

本指標については、比較優位の中で県外で製造することが効率的なものについては県外に担ってもらい、県内で製造できるものは、なるべく県内で製造するようにするという視点で検討し、展望値として設定することを前提としている。本指標は、以下の特徴から、採用している。

- ✓ 県民経済計算は、毎年公表されるため、同指標も毎年更新が可能。(過去との経年比較も可能。)
- ✓ 展望値で用いる経済モデルについても、県民経済計算を基礎として算出するため、モデルを活用した将来展望も可能。(モデルとの親和性もよい)

■ 県民経済計算による「域内自給率」の算出方法と算出式の変更

$$\text{域内自給率} = \left(1 - \frac{\text{移輸入}}{\text{県内需要}} \right) \times 100$$

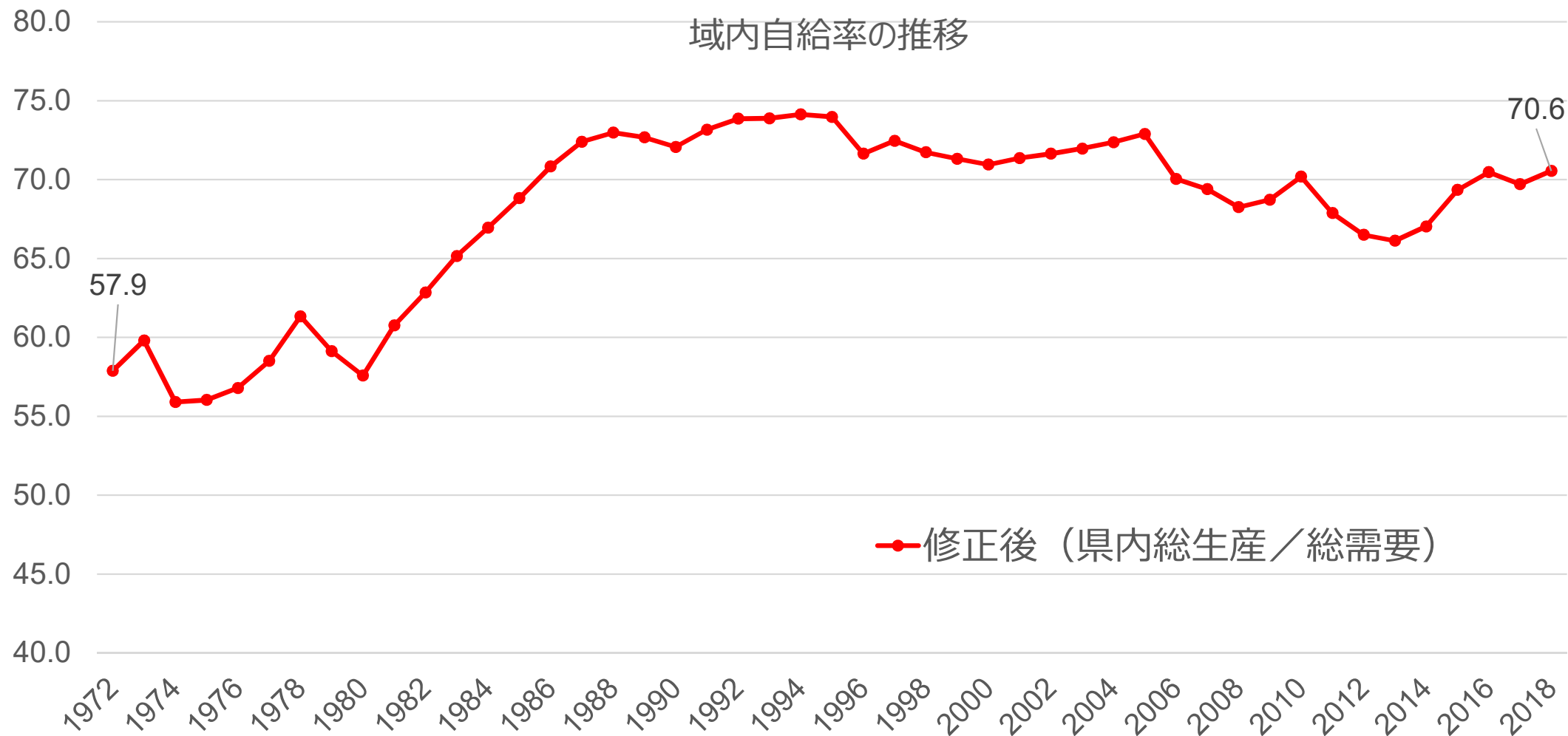
現在の指標においては、移輸出が考慮されておらず、観光客が消費する財・サービスに対する域内循環の視点が考慮されていない。例えば、観光客のお土産購入や宿泊等の消費等が含まれていない。県内経済循環の向上については、県内需要だけでなく、観光客も含めた、総需要で考察することが望ましい。

このため、算式については、「**県内で発生した需要をどれだけ県内総生産で応えたのか**」といった視点から、以下のとおり、変更する方向で整理したい。(右の式への変換はP8を参照)

$$\text{域内自給率} = \left(1 - \frac{\text{移輸入}}{\text{総需要}} \right) \times 100 \quad = \underline{\text{県内総生産} / \text{総需要}} \quad (\text{採用案})$$

指標の過去の傾向

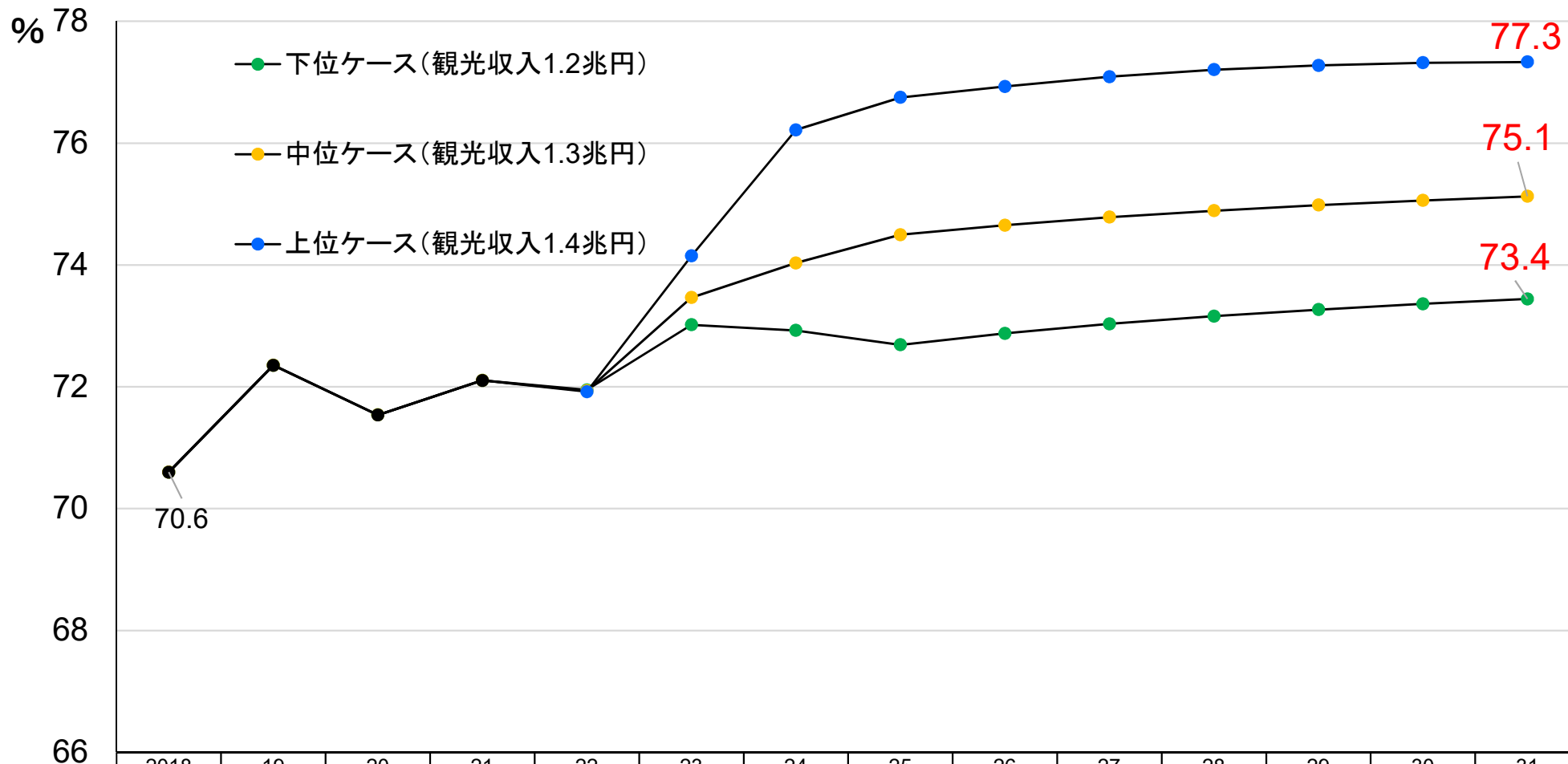
復帰時（1972年）の57.9%から観光・情報関連産業の振興，経済活動の活発化による就業機会の増加，地場資源の供給増により，1990年代には7割台にまで向上したが，その後は経済バブルの崩壊による経済活動の停滞，投資の縮減などにより，30年近く停滞したままである。



目標設定の考え方（域内自給率試算）

「移輸入代替」を促進する各種施策の展開により、域内自給率の改善した結果、**70.6%（2018年）**で推移していた自給率は、**73.4%～77%程度（2031年）**となる見込みとなっている。

なお、県内総生産が3ケースに分かれていることから、域内自給率も3ケースに分けて試算した。



	2018	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
下位ケース(観光収入1.2兆円)	70.6	72.4	71.5	72.1	71.9	73.0	72.9	72.7	72.9	73.0	73.2	73.3	73.4	73.4
中位ケース(観光収入1.3兆円)	70.6	72.4	71.5	72.1	71.9	73.5	74.0	74.5	74.7	74.8	74.9	75.0	75.1	75.1
上位ケース(観光収入1.4兆円)	70.6	72.4	71.5	72.1	71.9	74.1	76.2	76.7	76.9	77.1	77.2	77.3	77.3	77.3

【参考】域内自給率の定義について

域内自給率とは、県内需要を満たすための県内生産の割合をいう。すなわち、県内で発生した需要に対して県内産で賄われた割合をいい、この域内自給率が高くなれば県内での生産誘発額が増加し、経済波及効果は高くなる。

移輸入とは、県内事業所及び個人が県外(国外)から購入するモノ・サービスの移入及び輸入である。県民経済計算では、商品(原油、その他)と商品以外(県民の県外消費、旅客運賃)で示されている。算出方法は、県民経済計算で算出された産業別の中間投入額及び県内需要(民間最終消費支出、政府最終消費支出、県内総資本形成)に産業連関表で算出された移輸入率を乗じて算出する。

総需要とは、民間最終消費支出や政府最終消費支出及び県内総資本形成から構成される。県内で発生した需要のことをいい、県外居住者(観光客等)が本県内で消費した分を含む。

ここでは、 $1 - (\text{移輸入} / \text{総需要}) = \text{県内総生産} / \text{総需要}$ の関係性について以下の式で説明する。

総需要 = 消費需要 + 投資需要 + 財貨サービスの移輸出

$$D = C + I + X \quad \dots(1)$$

県内総生産 = 消費 + 投資 + 財貨サービスの移輸出 - 財貨サービスの移輸入

$$GDP = C + I + X - M \quad \dots(2)$$

これにより、自給率を県内総生産を総需要(=総供給)で割ることで定義できる。

(2)を(1)のDで割り

$$\begin{aligned} GDP/D &= (C + I + X - M) / D \\ &= (C + I + X) / D - M/D \\ &= 1 - M/D \end{aligned}$$